

2013年6月26日

社会経済史学会 WEHC 参加支援プログラム募集要項

1. 支援プログラムの趣旨

この支援プログラムは、2015年8月に京都で開催される第17回世界経済史会議(WEHC 2015)における若手研究者の積極的参加を促すことを目的としています。この目的実現のために、社会経済史学会ではWEHC2015に参加を希望する若手の学会員に対して、研究報告の準備等に必要費用の一部を支援することとしています。すでにファーストコールがアナウンスされていますが、これに応募する予定の研究グループが、この支援プログラムによって、より多くの若手研究者をメンバーに加えたセッションを構成することが期待されています。また、2014年2月に募集を開始する「ポスター・セッション」および「博士論文セッション」に、若手学会員が積極的に参加することが期待されています。

2. 対象

大学院博士課程在籍者、およびPD・助教、及びおおむね40歳までの准教授等で、WEHC2015のセッション(「ポスター・セッション」および「博士論文セッション」を含む)で報告を予定している者。

*この支援プログラムは、若手研究者個人に対するもので、その報告予定のテーマに必要な経費、たとえば準備研究会等に参加するための旅費・宿泊費・交通費、WEHC参加登録料、英文校閲料などを支援するもので、応募は当該研究者個人とします。

3. 募集人数

15～20名程度(支援額 一人あたり20万円以内を予定)

ただし、応募者の参加するセッションがWEHC2015に採択され応募者が報告することを確認したうえで、選考委員会は支援プログラムへの採択を決定します。

4. 提出書類

電子ファイル(指定フォーマットに入力してメールで提出)
書式に沿って必要事項を記入してください。

5. 書類提出先 社会経済史学会事務局 sehs@kurenai.waseda.jp

6. 支援プログラムの内容についての問い合わせ

社会経済史学会世界経済史会議参加支援制度検討委員会
武田晴人 takeda@e.u-tokyo.ac.jp

7. 提出期限

第1回 〆切 2013年9月30日(月)

*追って、セカンド・コールへの応募に対応した第2回の公募をする予定です。「ポスター・セッション」および「博士論文セッション」の希望者は、第1回の公募から申請可能です。第2回の公募の要領等については、学会ホームページなどを通してお知らせします。

社会経済史学会 WEHC2015 参加支援プログラム応募用紙

【注意事項】

ファイルに必要事項を入力し、2013年9月30日までに社会経済史学会事務局宛にメール添付で提出して下さい。

宛先：社会経済史学会事務局 sehs@kurenai.waseda.jp

ふりがな：
氏名：

現住所	〒
日中に連絡可能な電話番号	
メールアドレス	

所属・職位	(有期雇用の場合にはその旨明記して下さい)
-------	-----------------------

学歴・学位 (学部卒業以降)	
-------------------	--

参加するセッションのテーマ：
*セッションの代表者(氏名、所属機関)：
*セッションを構成する報告者(氏名、所属機関)：
*セッション全体のテーマの概要／ねらい：
応募者の報告の概要／ねらい：
支援金希望額： 円 (1000 円単位で記入してください)
支援金の使途予定：
(支出完了後に、支出明細の報告を提出することが求められます)

「ポスターセッション」「博士論文セッション」への応募者は「*印」の項目の記入は必要ありません。